

交渉の議事要旨

課 所 等 名	開 催 日 時	開 催 場 所	出 席 者		議 題	発 言 概 要	配 付 さ れ た 文 書 等
			当 局 側	職 員 団 体 側			
経 理 課 契 約 課	平成25年 9月24日(火) 17:30~18:00(30分)	室蘭開発建設部 1階中会議室	経理課 内藤 義昭 課長 高井 政 課長補佐 契約課 島崎 剛	全開発室蘭支部 経理・契約分会 執行委員長 黒川 尚人 書記長 岩本 秀治	「当課における超過勤務の縮減について」 「当課におけるメンタルヘルスについて」	○職員団体側から 職場状況を把握しつつ、超過勤務の縮減及び業務の平準化に努めてもらいたい。また、休職している職員について、引き続き、職場復帰に向けた支援をお願いしたい。 ○当局側から 本来、業務は勤務時間内で処理することが望ましいと考えるが、業務の性質や時期によっては、超過勤務が避けられない場合がある。今後とも、職員の健康に十分配慮しつつ、きめ細かな業務の進行管理に努め、超過勤務の縮減を図ってきたい。 職員の心身の健康の保持増進については、業務を円滑に遂行していく上で重要な事項であると考えている。長期に亘って病気療養した職員については、人事院の指針に沿った円滑な職場復帰支援策を進めていきたいと考えている。	なし
用 地 課	平成25年 8月7日(水) 14:00~14:17(17分)	室蘭開発建設部 3階会議室	用地課 高橋 栄一	全開発室蘭支部 用地分会 執行委員長 松原 直樹 書記長 山崎 めぐみ	「当課における超過勤務縮減について」	○職員団体側から 今後とも超過勤務の縮減について一層努力してもらいたい。 ○当局側から 本来、業務は勤務時間内で処理することが望ましいと考えるが、業務の性質や時期によっては、超過勤務が避けられない場合がある。今後とも職員の健康に十分配慮しつつ、業務運営の一層の効率化、きめ細かな業務の進行管理に努め、超過勤務の縮減を図ってきたい。	なし
公 物 管 理 課	平成25年10月8日(火) 17:20~17:50(30分)	室蘭開発建設部 3階会議室	公物管理課 谷坂 昭彦	全開発室蘭支部 管理分会 執行委員長 諏訪 弥貴子 書記長 植田 友香 執行委員 石井 充	「当課における超過勤務の縮減について」	○職員団体側から 業務が特定の者に偏ることがないよう業務の平準化に取り組むとともに、超過勤務の縮減に努めてもらいたい。 ○当局側から 当課としては、職場の超過勤務の実態等を踏まえ、業務運営の一層の簡素・効率化を図り、業務の円滑な進行管理を行うとともに、週休日及び休日出勤の縮減、定時退庁日における定時退庁の励行など、超過勤務の縮減に努めてきたところである。今後も特定の者に過度の負担が生じることがないように、きめ細かな業務の進行管理及び業務の平準化を図り、超過勤務の縮減に努めていきたい。	なし
苫小牧港湾事務所	平成25年 8月29日(木) 15:10~15:22(12分)	苫小牧港湾事務所 入札室	苫小牧港湾事務所 所長 伊藤 晃 副所長 石井 彰 総務課長 布施 敏彦	全開発室蘭支部 苫小牧分会 執行委員長 三上 一二三 書記長 城 敏也	「当事務所における超過勤務の縮減について」	○職員団体側から 業務が特定の者に偏ることがないよう業務の平準化に取り組むとともに、超過勤務の縮減に努めてもらいたい。 ○当局側から 当事務所としては、職場の超過勤務の実態等を踏まえ、業務運営の一層の簡素・効率化を図り、業務の円滑な進行管理を行うとともに、週休日及び休日出勤の縮減、定時退庁日における定時退庁の励行など、超過勤務の縮減に努めてきたところである。また、超過勤務を命ずる場合には、職員の健康を害しないように考慮しているところであり、今後とも、この点に十分配慮するとともに、特定の職員に過度な負担が生じることがないように、きめ細かな業務の進行管理に努めていきたい。	なし